

# 南条殿御返事

弘安元年四月一四日 五七歳

いも・は<sup>字</sup>じか<sup>量</sup>み悦びて給ひ候ひ了んぬ。いまをはじめぬ事に候へば、とかく申すにをよばず候。を<sup>折</sup>り<sup>節</sup>ふしそうそなる事候ひし間、委細の御返事に及ばずの由候ところに候。恐々謹言。

卯月十四日

日 蓮花押

南条殿御返事